

喜田歯科医院 喜田睦子 院長先生

歯科用ユニット給水管路水等 調査報告書株式会社 モリタ東京製作所  
周辺機器開発部 川西

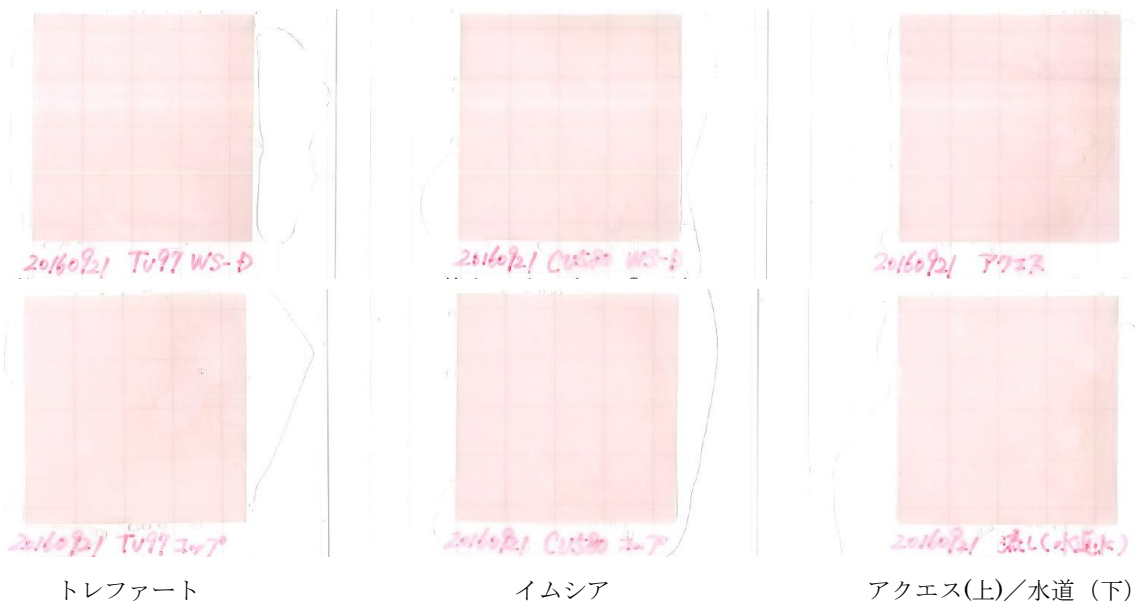
平素は格別のご愛顧、お引立てを賜り厚くお礼申し上げます。

さて早速ではございますが、先般、貴医院にて採水いたしました歯科用ユニット管路水等の調査結果を下記にご報告申し上げます。

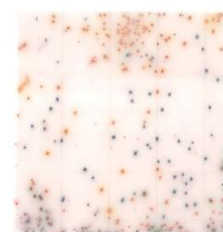
1. pH・遊離塩素濃度

		pH	Cl(ppm)
アクエス		6.3	30以上
スパ-スライムシヤ (CU580)	WS	7.05	0.25
	CUP	6.85	0.35
シグノ トレファート (TU97N)	WS	6.25	0.28
	CUP	6.85	0.25
水道水		6.70	0.43

調査しました検体のうち、アクエス水のpHは微酸性領域であり遊離塩素濃度 30ppm(≒mg/L)以上であったことから、強い殺菌力を示すものと考えられます。一方、歯科用ユニットの給水及び水道水のpHは中性で、遊離塩素濃度は水道法施行規則の衛生上必要な措置（給水栓における水が、遊離残留塩素を0.1ppm以上保持すること）を満たしていることが確認できました。

2. 微生物学的調査

歯科用ユニットのドクター側3ウェイシンジ、コップ給水、アクエス、シンクの各吐水口から無菌的に採取した検体を水系細菌用培地にて1ヶ月間培養した結果を写真に示します。いずれも菌の育成は見られなかったことから、微生物は不活化されていることがわかりました。もし、細菌が存在している場合は、右の写真のようにコロニーとして検出されます。



No.15 2070

他医院の例

### 3.まとめ

上記の調査結果より、貴医院でお使いの水は衛生的に管理されているものと考えられます。歯科用ユニットの給水は水道法に準拠した pH、遊離塩素濃度であります。引き続き日々の残留水排出を継続していただければ、給水管路内を流れる水が微生物によって汚染されるリスクは低減できるものと推察されます。

以上、書面をお借りしまして報告申し上げますと共に、今後とも弊社製品をご愛顧の程宜しくお願ひ申し上げます。

以 上